

概要：令和2年の台風等の暴風、波浪等の影響により、沿岸部に設置された灯台等の倒壊・損壊による事故が多発し、航路標識の信頼性が阻害されたことから、航路標識の倒壊、損壊等の被害に対応するため、長寿命化のための整備を着実に実施し、航路標識の老朽化対策を図る。

府省庁名：海上保安庁

### 【事例】稚内港北副防波堤東灯台耐波浪補強

■ 実施主体：海上保安庁 第一管区海上保安本部

■ 実施場所：北海道稚内市

■ 事業概要：

波浪の外圧により灯台が倒壊等しないよう、構造的弱部を補強する等し、耐波浪対策を講じた。

■ 事業費：全体事業費2000万円

(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)2000万円)

■ 効果：

令和4年1月、急速に発達する低気圧の影響により、暴風を伴う激波浪(約6m)を周囲海域で観測したが、本灯台は倒壊、損壊することなく安定した航路標識の機能を維持した。



稚内港北副防波堤東灯台